

広報

No.110

# TABAYAMA 丹波山



大きな自然のポケットです。  
山の山の手。丹波山村。

平成17年7月

編集と発行 丹波山村役場総務住民課 山梨県北都留郡丹波山村890 TEL 0428-88-0211 FAX 0428-88-0207  
E-mail info@vill.tabayama.yamanashi.jp URL http://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/



「願い事が叶いますように」とお願いしたところでみんなで元気に『はい・ポーズ』(丹波小学校1・2年生)

## 主な内容

- ・介護保険制度について
- ・村議会
- ・入学式
- ・老人クラブ
- ・各種お知らせ

人口と世帯  
(17年6月末現在)

人口 846人  
男 409人  
女 437人  
世帯 375戸

# 介護保険制度について

介護保険は介護を社会全体で支えあう制度で40歳以上のすべての人が加入者となり保険料を負担していただいています。

介護が必要と認定されたときは、費用の一部（原則として一割）を負担して介護サービスを利用する仕組みです。制度を健全に運営できるよう、介護保険料の納付に今後も村民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 介護認定は6段階に分かれています

### 要支援

今後、要介護状態となるおそれがある状態であり、身体上または精神上の障害があるため、日常生活を営むのに支障があると見込まれる状態

### 要介護1

身体上または精神上の障害があるために、入浴や排泄、食事等の日常生活における基本的な動作の全部または一部について常時介護を要すると見込まれる状態

### 要介護2

要介護1よりも介護を要すると見込まれる状態

### 要介護3

要介護2よりも介護を要すると見込まれる状態

### 要介護4

要介護3よりも介護を要すると見込まれる状態

### 要介護5

要介護4よりも介護を要すると見込まれる状態

介護認定は、寝たきりや認知症（痴呆）、病気などが重いか軽いかだけでなく、介護の手のかかり具合（介護を必要とする時間が長いほど介護度が上がる）も審査の対象になります。

介護保険加入者

第一号被保険者……六十五歳以上の方で常に介護を必要とする状態や日常生活に支援が必要な状態になった場合にサービスが受けられます。

第二号被保険者……四十歳から六十四歳までの方で初期の認知症（痴呆）、脳血管疾患など老化が原因とされる病気により常に介護を必要とする状態や日常生活に支援が必要な状態になった場合にサービスが受けられます。

介護サービスが必要になった場合

介護保険でサービスを利用するには申請し、介護認定を受ける必要があります。申請については、役場総務住民課

（☎88 0211）

にお問い合わせください。

なお丹波山村の場合、認定調査は介護保険担当または保健師が調査し、医師の意見書（丹波山村医科診療所他）とともに東部広域連合に送られます。認定は東部広域連合においているため、調査

## 丹波山村高齢者生活福祉センター（デイサービス）利用料金

	1回につき
要支援	749円
要介護1・2	886円
要介護3・4・5	1,183円

要支援や要介護度により利用できる回数に上限が決まっています。

このサービスは介護認定（認定調査）を受けた方のみ利用となっております。

丹波山村高齢者生活福祉センターでは、月曜日から金曜日までの午前九時三十分から午後四時までデイサービスを行っています。

丹波山村高齢者生活福祉センター（デイサービス）を利用

から認定までに一ヶ月程度の期間がかかってしまいます。そのため、今は介護サービスを受ける考えがない方も今後介護サービスが必要になることも考えられますので、今のうちから介護認定をうけておくことをお勧めします。

介護について困ったり、不安を感じる事があれば役場総務住民課にお問い合わせください。

内容は、カラオケや温泉入浴、将棋などの趣味、みんなと一緒に楽しく意見交換等を介護職員とともにしています。一日十名程度の利用が可能となっておりますので利用される方は役場総務住民課にお問い合わせください。

介護保険料

介護保険料は、介護サービス利用が増えると介護サービスにかかる費用も増えていきます。介護保険料は、地域でかかる介護サービス費用によって異なります。そのため、サービス利用が増えサービス費用が増えれば保険料も上がっていきます。

今、国の負担金が二十五%、山梨県から十二・五%、丹波山村から十二・五%、費用の半分は国・県・村で負担していることになりましたが、残りの半分は四十歳以上の皆さんに納めていただいている保険料で運営されています。

今後も介護保険料の納付にご理解とご協力をお願いいたします。



介護保険料（年額）

(円)

段 階	対 象 者	平成17年度
第1段階	生活保護受給者・老齢福祉年金の受給者で世帯全員が住民税非課税	13,100円
第2段階	世帯全員が住民税非課税	19,650円
第3段階	本人が住民税非課税	26,190円
第4段階	本人が住民税課税（合計所得金額200万円未満）	32,740円
第5段階	本人が住民税課税（合計所得金額200万円以上）	39,290円

# 民生委員

## 児童委員協議会

### 定期総会

六月九日（木）に丹波山村民生委員児童委員協議会（会長 川端勇一）の定期総会があり平成十七年度事業計画が話し合われました。

敬老祝金の支給についての説明では、今年度の七十七歳対象者が二十三名、八十八歳以上の対象者が十七名、合計四十名の方に敬老祝金が秋に支給されることが報告されました。

また、悩み事や心配ごとがあってもなかなか相談できない村民のために「心配ごと相談所」の運営方法についても熱心に検討していただきました。

会議後の意見交換では、丹波山村の六十歳以上の一人暮らし世帯（八十二世帯）と六十歳以上で二人暮らしの世帯（八十四世帯）あわせて一六

六世帯の数字の多さを知り、今後の丹波山村を心配する意見も出されました。

六月一日現在で高齢化率は約四十四%、世帯数三七四世帯中六十歳以上の一人暮らし・二人暮らし世帯が一六六世帯。労働力人口の少なさと後継者の少なさを痛感させる会議でした。





# 第1回 村議会臨時会

村議会の第一回臨時会が五月十三日（金）に  
招集されました。

岡部政幸村長が就任して初めての臨時議会で  
今後の村政の進め方を述べた所信表明と丹波山  
村助役選任の件、丹波山村収入役の事務の兼掌  
条例制定の件の二つの議案が提出され、原案ど  
おり可決されました。

空席となっていた助役には前収入役の坂本求  
氏が任命されました。（任期：平成十七年五月十  
六日から平成二十一年五月十五日までの四年間）  
なお、丹波山村には収入役を置かず、助役が  
収入役の事務を兼掌する内容が「丹波山村収入  
役の事務の兼掌条例」に書かれています。施行  
日は平成十七年五月十六日からです。



坂本求助役



岡部政幸村長

## 丹波山村は 26 位

平成16年7月に発行された「広報丹波山  
(105)」で、推計人口ランキングの記事  
を載せました。この時は、平成15年10月1  
日現在の推計人口で、丹波山村（815人）  
は3,123市区町村のなかで38番目に推計人  
口の少ない自治体でした。

推計人口とは平成12年国勢調査人口を基  
に住民基本台帳法及び外国人登録法に基づ  
く届出を加減することにより算出した人口  
であり、出生児数・死亡者数・出入国者数  
を加減し、外国人を含めた人口のことです。

さて、平成16年10月1日現在の推計人口  
ランキングの結果が発表され、丹波山村の  
推計人口は、平成16年10月1日現在で789  
人でした。この時の全国の市区町村数は、  
2,393自治体で、丹波山村は26番目に推計  
人口の少ない自治体にランクされています。

平成16年10月1日現在で一番少ない自治

体は、火山噴火のため全島避難をしていた  
三宅村（東京都・推計人口0人）、次に青ヶ  
島村（東京都・推計人口197人）、山梨県内  
では芦川村（推計人口510人）が10位にラ  
ンクされています。

逆に推計人口の多い自治体は、横浜市で  
355万5,473人、次に大阪市の263万3,685  
人、名古屋市の220万2,111人、山梨県の人  
口よりも多い市区町村が13自治体あります。

村は全国に329自治体あり一番推計人口  
の多い村は滝沢村（岩手県・53,224人）で  
した。近隣の市町村では、青梅市が14万  
2,361人で推計人口の多い自治体から数え  
て186位、奥多摩町が6,904人で1,779位、  
小菅村が1,016人で2,364位、丹波山村は  
2,368位でした。

日本全国では市町村合併が今後も進んで  
いきます。財政が厳しく、人口規模の少な  
い市町村がどんどん合併していく中で丹波  
山村は、村民の協力によりがんばっていかな  
ければなりません。



「丹波山村ヘリポート」で県警ヘリの訓練

# 村議会6月定例会

村議会の6月定例会が6月23日（木）に開会し、会期6日間で審議されました。

平成16年度丹波山村事故繰越し繰越し計算書報告の件、丹波山村税条例中改正にかかる専決処分承認の件、平成17年度一般会計補正予算など報告・議案・発議等が提出され、原案どおり可決されました。

この議会で決まった主なもの

丹波山村税条例

地方税法が四月一日から改正されましたので丹波山村税条例も改正が必要になりました。三月定例会後の改正だったため専決処分をし、六月定例会で承認していただきました。

## 今回の改正の主なもの

### 村民税・県民税 均等割

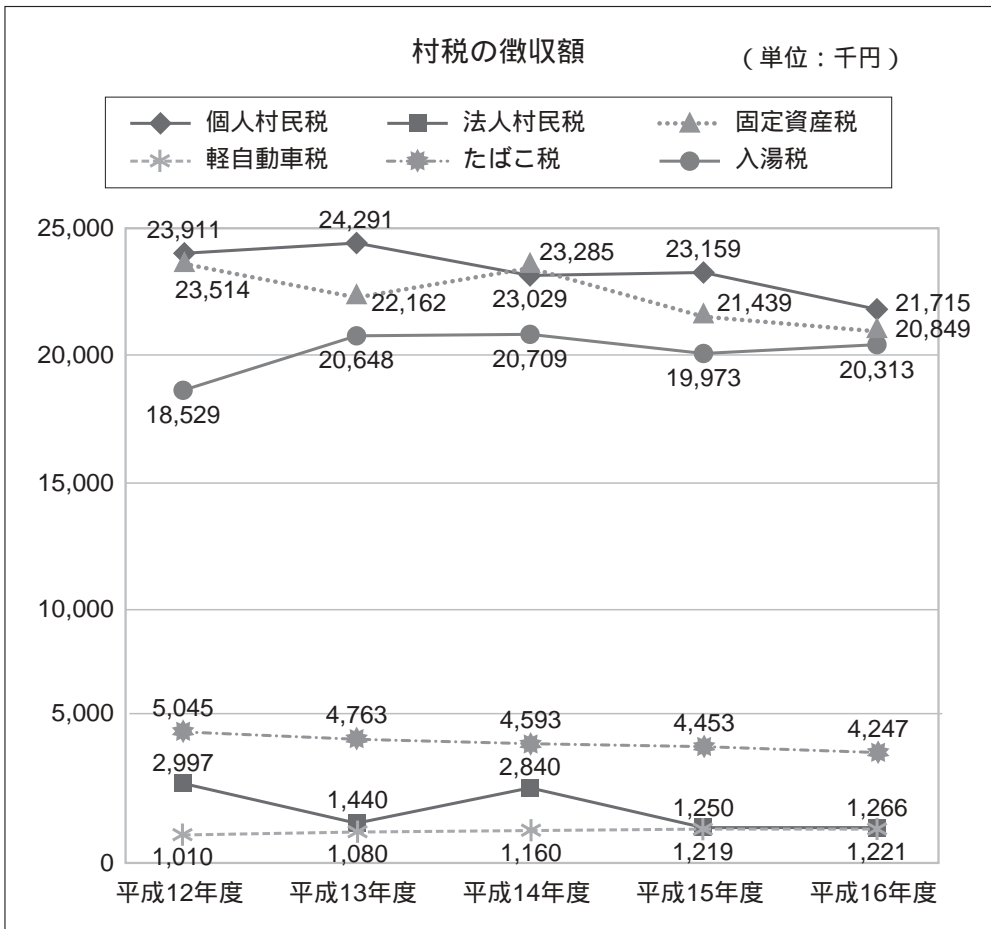
村内に住所を有する納税義務者は、前年中（一月から十二月）の所得額にある一定の税率を掛けて算定された「所得割」と納税者一人に課する「均等割」を足したものを「村・県民税」として納めていただいています。

均等割については平成十六年度まで、納税義務がある夫（または妻）と生計を同一にする妻（または夫）は、均等割が非課税となっていました。しかし、この改正では納税義務がある夫（または妻）と生計を同一にする妻（または夫）も、ある一定の所得額があれば均等割が課税されることになりました。

平成十七年度は「二〇〇〇円（村民税分一、五〇〇円、県民税分五〇〇円）」、平成十八年度（来年度）からは「四、〇〇〇円（村民税分三、〇〇〇円、県民税分一、〇〇〇円）」となります。

配偶者控除  
平成十六年度までは、納税義務

がある夫（または妻）と生計を同一にする妻（または夫）に収入がない場合は、納税義務がある夫（または妻）の所得額から、配偶者控除（三十三万円）と配偶者特別控除（三十三万円）の合わせて六十六万円を差し引くことができました。



しかし、この改正から納税義務がある夫（または妻）と生計を同一にする妻（または夫）に収入がない場合は、配偶者控除（三十三万円）だけ差し引くことができ、配偶者特別控除は適用されなくなりました。そのため、納税義務者にとっては今までより多く村・県民税を納めていただくこととなります。

なお、納税義務がある夫（または妻）と生計を同一にする妻（または夫）の所得額が三十八万円以上七十六万円未満の場合は、配偶者特別控除（控除額は所得額により異なる）が適用されます。

平成十六年度  
丹波山村一般会計補正予算

地方交付税（特別）の増額と基金繰入金金の減額などにより、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四、八九一七千円を追加する補正予算を専決処分し、これを報告し承認されました。これにより、平成十六年度の一般会計は総額十三億七、八九六万四千円になりました。



予算額で地方交付税は七億四、四四七万六千円となり、平成十五年度の地方交付税（七億五、四一三万八千円）に比べ九六六万二千円の減額となりました。基金繰入金は、予算額をすべて減額し、基金からの繰り入れはありません。

丹波山村固定資産評価  
審査委員会委員選任

固定資産評価審査委員会委員に、河村豊作さん（保之瀬）が平成十七年六月三十日で任期満了になりましたが議会の同意を得て引き続き選任されました。任期は平成十七年七月一日から平成二十年六月三十日までの三年間です。

丹波山村農業委員会の  
選挙による委員の定数条例

農業委員会の選挙による委員の定数が十名から八名に引き下げられました。

丹波山村  
国民健康保険条例

医療費の伸びに対応するため均等割、平等割の金額を改正し、あわせて軽減額も改正したもので

す。平成十七年度の国民健康保険税の算定は、

- 所得割額（総所得金額及び山林所得金額の合計額から控除額を引いた後の総所得金額及び山林所得金額の合計額×税率）の税率

- 四、一％（据え置き）
- 資産割額（固定資産税額×税率）の税率
- 四十八％（据え置き）

- 均等割額（被保険者一人あたり）一〇、八〇〇円
- 一一、〇〇〇円

- 平等割額（一世帯あたり）一五、六〇〇円
- 一七、八〇〇円

に改正されます。

また所得額に応じて四割軽減・六割軽減制度を採用していましたが、平成十七年度からは、所得額に応じて、一割軽減・五割軽減・七割軽減の制度に改正されます。

なお、この改正後も富士北麓・東部地域振興局管内の市町村（四市二町六村）の中では、一人あたり保険税額、一世帯あたり保険税額ともに一番少ない水準になっております。これは、保険税収納率が一〇〇％を維持することにより

### 専決処分とは

議会の議決を経ないで村長が議会に代わって意志決定を行うものです。地方自治法において、「専決処分」のできる場合は、次のようなものです。

- 議会が解散したり、議員が総辞職したなどで議会が成立しない場合。
- 議会を招集しても、議員の半数以上が出席しないなどで、議会を開くことができない場合。
- 村長が、議会を招集する暇がないと認めた場合。
- 議会が議決すべき事項を議決しない場合。

今回提案された「専決処分」は村長が緊急性があると認め、議会を招集する暇がないと判断されたものです。



国からの補助金が受けられているもので、村民の皆様のご理解とご協力によるものです。今後ともよろしく願います。

平成十七年度  
丹波山村一般会計補正予算

歳入歳出それぞれに、七八八万四千円が追加され、歳入歳出総額がそれぞれ十一億五、五八八万四千円になりました。

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

義務教育費国庫負担制度は、小中学校の教員・学校事務職員・学校栄養職員を財政上補償し、丹波山村のように財政力の小さい自治体でも、財政力の大きい自治体と同じように子どもたちの教育を受ける権利に較差が生じないよう法制化されたものであります。

しかし、国においては、三位一体の改革の論議の中で地方分権に伴う国と地方の役割分担論や財政事情の悪化を理由に義務教育費国庫負担制度の見直しを検討し、引き続き教職員の給与の部分を一一般財源化等の方向で進められているようにです。

仮に児童・生徒数を基準にした交付金化や一般財源化になると自治体の財政能力によって義務教育の内容に較差が生じることが予想されます。丹波山村議会では、文部科学大臣他に現行の義務教育費国庫負担制度の堅持を強く要望し、提出するものです。

分権時代の新しい地方議会制度の構築を求める意見書

平成十一年の地方分権一括法の成立により地方公共団体の自己決定権と自己責任がますます大きくなっています。

地方議会は、立法的機能・政策的機能・行政監督機能をより一層充実強化し、今まで以上にチェック機能を向上させ議会の役割を果たしていかなければなりません。

しかし、現行の地方議会制度は議会の招集権が長（丹波山村の場合は村長）にあること、議会を招集する暇がないという理由で条例や予算が専決処分されてしまうことなど長と議会の機能バランスを欠き、議会本来の機能が発揮されていないのが現状です。議会定数の上限値の規

定や制約的規定により、議会の自主性・自立性を弱め議会の活性化を阻害しています。

丹波山村議会では、さまざまな事項について、所要の措置を早急に講じ、分権時代に対応した新たな地方議会制度を構築されるよう強く要請し、提出するものです。

丹波山村  
事故繰越し繰越計算書

丹波山村地域防災計画作成事業が平成十六年度事業で進めて参りましたが、国や山梨県の防災計画に変更や追加があり、また、山梨県との事前協議に時間がかかり年度内に事業が終わりなかつたものです。

地域防災計画は、地震や火災、災害時の住民避難・対策などが書かれた大変重要なものなので、早急に山梨県と協議を終え完成させ、今後の丹波山村防災に役立てていきます。



### 役場 人事異動

五月十六日（月）付けで役場人事異動が行われ、職員の異動と職員の担当内容に変更がありました。

そのため、住民サービスに多少の混乱が生じることもあるかもしれませんが、より一層の住民サービスの充実に努めていきますので村民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

#### 職員配置

（平成十七年七月一日現在）

村長

岡部 政幸

助 役

坂本 求

総務住民課

主 幹

清水 善明（国保・老人保健）

主 事

相生 有得（児童福祉・障害者

福祉・契約）

主 事

杉浦 宏治（出納）

・ 医科診療所

副主査

白木 敦子（医療事務）

## 丹波山村保育所入所式



おおかわりゅうや  
大河龍弥くん〔3歳児〕  
(高尾・和教さん)



あおやぎたくま  
青柳拓真くん〔3歳児〕  
(奥秋・幸男さん)

4月5日(火)に丹波山村保育所で平成17年度入所式が行われ、かわいい男の子のお友達が仲間入りしました。

今年の入所児は、青柳拓真くんと大河龍弥くんの3歳児2名です。最初は恥ずかしそうにしていたましたが先生から名前を呼ばれると「ハ～イ」と元気で大きな返事が返ってきました。

平成17年度の保育所児は、4歳児2名と3歳児5名のあわせて7名と本当に少なくなっただけでしたが保育士の久保田崇史先生と酒井望先生が一生懸命になって子どもたちのためにがんばっています。5歳児が一人もいないのは残念ですが、4歳児の大石広太くんと松木歩ちゃんがお兄さんお姉さんとして3歳児を引っ張っていきます。仲良く歌やおゆうぎをして楽しく遊んでください。

## 丹波小学校入学式

4月6日(水)に丹波小学校で平成17年度入学式が行われました。

今年のピカピカの一年生は男の子3名と女の子2名でみんな元気に入學式に出席していました。式では元気いっぱい挨拶ができ、先生方や在校生、来賓の皆さんの挨拶をしっかり聞いて

ていました。

入学式から3ヶ月が過ぎ、黄色い帽子をかぶって登校する姿も見慣れて丹波小学校の1年生はがんばっています。どうか車に気をつけ、これからも勉強を頑張って、友達と楽しく仲良く遊んでください。



ピカピカの一年生です。左から  
あしざわひろのり 芦澤広規くん(奥秋・文男さん)  
あおやぎたつひろ 青柳龍宙くん(下組・秀和さん)  
ひるせゆうさく 廣瀬友作くん(押垣外・浩蔵さん)  
たなかゆい 田中結衣ちゃん(下組・寿二さん)  
かんのまなみ 菅野愛美ちゃん(鴨沢・夏子さん)

丹波小学校児童数(6月30日現在)(人)

学 年	男	女	計
1 年	3	2	5
2 年	1	4	5
3 年	5	3	8
4 年	2	5	7
5 年	3	4	7
6 年	1	3	4
計	15	21	36



# 丹波中学校入学式



ガンバレ、一年生

## 今年度の入学生

きのしたまきひと  
木下真一くん  
(奥 秋・修一さん)  
おかべあんり  
岡部杏利さん  
(押垣外・豊喜さん)  
あしざわさあや  
芦澤紗彩さん  
(押垣外・泰士さん)



4月6日(水)に丹波中学校で平成17年度入学式が行われました。

今年の新入生は男子1名、女子2名、計3名です。3月23日の丹波小学校卒業式とは違い、制服に身を包んだ姿を見るとちょっと大人になったように見えました。

中学校では英語や数学など難しい教科がありますが、部活動に汗を流し全校音楽で親睦を深め、楽しい中学校生活を過ごしてください。

丹波中学校生徒数(6月30日現在) (人)

学 年	男	女	計
1 年	1	2	3
2 年	2	3	5
3 年	4	2	6
計	7	7	14

## 北都留地区(大月市・上野原市・小菅村・丹波山村)の小・中学校は、何校あると思いますか？

### 小 学 校

全部で27の小学校と1分校があります。

5月1日現在の小学校別児童数を見ると、一番少ない小学校は大月市の上和田小学校の10名、次に上野原市の西原小学校の19名、大月市の浅利小学校の28名、丹波小学校は36名で4番目に児童数の少ない小学校です。

逆に一番児童数の多い小学校は上野原小学校の695名、次に四方津小学校(上野原市)の368名、猿橋小学校(大月市)の314名です。ちなみに、小菅小学校は58名、桐原小学校は54名、秋山小学校は111名。

北都留地区小学校の全児童数は3,445名です。

### 中 学 校

全部で15の中学校があります。

5月1日現在の中学校別生徒数を見ると、一番少ない中学校は、丹波中学校の13名(6月30日現在は14名)、次に梁川中学校(大月市)の16名、西原中学校の19名でした。

逆に一番生徒数の多い中学校は、上野原中学校の406名、次に大月東中学校の349名、猿橋中学校の250名の順です。ちなみに、小菅中学校は30名、桐原中学校は39名、秋山中学校は61名。

北都留地区中学校の全生徒数は1,919名です。

# 元気です！丹波山村老人クラブ連合会

丹波山村老人クラブ連合会は、  
 奥秋・上組・中組地区の老人クラブを  
 第一老人クラブ（はぎクラブ・会員数八十名）  
 下組・高尾・押垣外地区の老人クラブを  
 第二老人クラブ（ふじクラブ・会員数一〇〇名）  
 保之瀬・所畑地区の老人クラブを  
 第三老人クラブ（もみじクラブ・会員数二十九名）  
 鴨沢・小袖地区の老人クラブを  
 第四老人クラブ（さくらクラブ・会員数二十七名）  
 の四つのブロックを合わせて構成されています。

## 丹波山村老人クラブ連合会 定期総会

平成十七年度は  
 「心とからだの健康づくり」  
 「花のある村」「ミのないうちづくり」  
 「友愛活動づくり」  
 「仲間同士のつながりづくり」  
 の四つのテーマを設けて、広瀬  
 栄一会長以下二三六名で元気に楽  
 しく活動しています。  
 なお、一緒に活動してくれる会  
 員を募集しています。老人クラブ  
 の入会資格に該当する方で、年会  
 費六〇〇円を納めていただければ  
 だれでも会員になれます。入会資  
 格に該当される方のご理解とご協  
 力をお願いします。

五月十四日（土）午前十時三  
 十分から丹波山村中央公民館に  
 おいて、四月十九日告示の丹波  
 山村村長選挙で無投票当選され  
 ました岡部政幸村長に出席してい  
 ただき、「平成十七年丹波山村老  
 人クラブ連合会定期総会」を開催  
 しました。  
 当日は、広瀬栄一会長以下五十  
 八名の会員が出席し、平成十六年  
 度事業報告と決算報告、平成十七  
 年度事業計画案と予算案を慎重に



慎重審議にご協力ありがとうございました。

審議していただき原案どおり承認  
 していただきました。  
 今年度から老人クラブの事務局  
 が丹波山村社会福祉協議会から役  
 場総務住民課に移り、平成十七年  
 度の事業・行事等がスムーズにい  
 かない場面もあると思いますが、  
 今後も社会福祉協議会の助言と老  
 人クラブ会員の皆様のご協力によ  
 り、事業計画を進めてまいります。

老人クラブ会員数（5月30日現在）

地 区	60歳以上			65歳以上		
	会員数	住民数	加入率	会員数	住民数	加入率
奥 秋	32	63	50.8%	32	62	51.6%
上 組	22	38	57.9%	22	40	55.0%
中 組	26	40	65.0%	25	31	80.6%
下 組	48	52	92.3%	45	48	93.8%
高 尾	38	63	60.3%	37	58	63.8%
押垣外	14	46	30.4%	14	35	40.0%
保之瀬	23	33	69.7%	23	28	82.1%
所 畑	6	19	31.6%	6	16	37.5%
鴨 沢	23	48	47.9%	23	45	51.1%
小 袖	4	11	36.4%	4	10	40.0%
合 計	236	413	57.1%	231	373	61.9%

老人クラブの入会資格  
 丹波山村に居住するもので  
 (一) おおむね六十五歳以上の  
 者で、「この会の目的に賛  
 同し、会の事業に参加  
 する者  
 (二) 六十歳以上六十五歳未  
 満の者で、自由意思に  
 より加入を希望する者

老人  
クラブ  
連合会

# 高齢者いこいの日

五月十四日(土) 午後一時三十分から丹波山村中央公民館において、「みんなで元気にリズム体操」と題し、リズム体操を行いました。

当日は、講師として運動指導士の阿部郁子先生をお招きし、運動が苦手な方や体力に自信がない方

でも簡単にできるタオルを使った運動を音楽に合わせてながら実施しました。時間は一時間程でしたが体が温まり楽しく体を動かすことができました。



楽しく運動不足を解消しよう



運動指導士の阿部郁子先生 ▶

老人  
クラブ  
連合会

# ふれあいゲートボール大会

六月三十日(木) 丹波中学校体育館において丹波山村老人クラブ連合会主催の「第九回ふれあいゲートボール大会」が雨が降り道路の状況が悪いなか、六十人を超える大勢の方が参加して実施されました。

広瀬栄一大会会長の挨拶と松木弥平審判長の競技上の注意の後、「第三A(所畑・保之瀬)チーム対第一A(奥秋)チーム」の試合からゲームがスタート。

八チームによるトーナメント方式で行われ、決勝戦は「第一A(奥秋)チーム対第一B(上組・中組)チーム」の対戦になりました。結果は接戦の末、第一B(上組・中組)チームが優勝しました。

この大会は、ゲートボールの競技とともにゲームを通して、普段顔を合わすことができない者同士がふれあい、交流し親睦を深めることを目的に実施されています。この日もゲームを観戦しながら、楽しそうな笑い声が聞こえたり、いろいろな情報交換ができています。また、ゲームの合間

にペタンク教室も同時に行われ初めての方が経験者に丁寧にルールを説明されていました。

表彰式では、優勝チーム、準優勝チーム、三位のチームにトロフィーが贈られ、また高齢者表彰では、八十歳以上の参加者に記念品が贈られました。「ふれあいゲートボール大会」にふさわしい楽しい一日を過ごすことができました。



第一ゲートを通過できるかな～



老人  
クラブ  
連 合 会

# 社会奉仕活動の日

丹波山村老人クラブ連合会では、六月二十三日(木)に「ゴミのない村づくり村内一斉清掃活動」を実施しました。当日は雨が降るあいにくの天気でしたが、一〇〇人を超す大勢の老人クラブ会員の皆さんが清掃活動に参加しました。

国道・県道沿い、多摩川源流である丹波川河川、村民グラウンド周辺などを午前中いっぱいをかけて清掃し、奥秋地区から小袖地区までのゴミが、軽トラク一台分では乗りきれないほど集まりました。

観光シーズがはじまり、村内にはたくさんのお客さんが丹波山村に訪れます。きれいな丹波山村を見ていただき、ゴミではなくお金をたくさん村内に落としてもらえるよう、引き続き清掃活動を村民一人ひとりが続けていきたいと思います。そして、いつまでもきれいな丹波山村が続くよう観光客にもゴミの持ち帰りをお願いいたします。

この事業は環境美化活動に取り組むことにより、なお一層の地域社会に対する感謝の念を表し、地域に貢献する奉仕活動の一環です。

▶ 観光施設もきれいになりました



塩山方面もきれいになりました



国道もきれいになりました

▶ ゴミがたくさん集まりました



県道もきれいになりました

# 東部地区でチャレンジャーズ・レースを応援

青梅から高尾まで100kmを駆け抜けるレース「チャレンジャーズ・レース」が4月30日（土）に実施されました。

レースは、青梅市の永山公園グラウンドをスタートし、高水山(759m)・雲取山(2,017m)・七つ石山(1,757m)・三頭山(1,527m)・陣馬山(855m)を通過して八王子市高尾の綾南公園グラウンドにゴールする100kmの部と鴨沢グラウンドをスタートし、八王子市高尾の綾南グラウンドにゴールする50kmの部が行われました。

コースの中間地点に位置する鴨沢地区では、選手の皆さんに疲れを癒してもらい元気になって高尾のゴールまで無事に走ってもらいたいという気持ちで所畑地区と鴨沢地区と小袖地区の住民が一緒になって協力し、豚汁や手打ちそば、麦茶などを前日から用意していました。

当日は朝早くから鴨沢公民館に集まり、女性陣は豚汁の具を切る担当、おそばを打つ担当、おにぎりをにぎる担当などに分かれ、男性陣は鴨沢グラウンドで豚汁の味付けや場所の設営などをし、選手の皆さんを迎える準備をしていました。

大会が終わった後、大会を主催した実行委員会の方の話では選手の皆さんが「鴨沢地区で食べたおそばや豚汁が、何とも言えないくらいおいしくて本当に有り難かった。」と言った感想や「せっかく用意してもらったのに食べることができなくて今になって後悔している。」「疲れている時に優しく言葉を掛けてくれた。励みになった。」など感謝する気持ちがたくさんあったことが報告されています。

東部地区の皆さんの暖かい気持ちが選手の皆さんに伝わったことと、丹波山村を知ってもらえたことは本当に大きな成果だったと思います。東部地区の皆さん、本当にお疲れさまでした。



気持ちのこもった料理を準備した東部地区の皆さん



実行委員会と設営準備等をした東部地区の皆さん



八月八日(月)は「献血の日」

血液製剤は私たちの献血によって確保されています。しかし、献血に協力していただいた献血者数は年々減少傾向にあります。今後少子高齢化が進むにつれ、また安全対策の一環として海外渡航歴や献血時の問診が強化されることなどが考えられ、献血者の減少により救命医療に重大な支障をきたす恐れがあります。

血液は、長い期間保存することができません。そのため、全国的な規模で血液の過不足が起きないように血液の需給調整を行っています。輸血用の血液には有効期間があり、血液が使われない日は一日もありません。

ぜひ、この機会に村民の皆様方の優しさを分けてください。

日時  
八月八日(月) 午前十時～正午

会場  
役場前

募集

成分献血にご協力していただける方を募集します。献血時間は一時間弱です。ご協力していただける方は役場総務住民課までご連絡下さい。

過去に英国に二泊二日以上滞在したことがある方は献血をご遠慮いただいています。

特定疾患医療費助成制度

原因が不明で、治療法が確立されていない病気を「難病」といいます。そのうち、国の定めた難病(特定疾患)については、治療方法の研究を進めると同時に、医療費の軽減を図っています。軽減措置は、病気の重傷度、所得額等により自己負担額が異なります。

対象者

ベーチェット病ほか

申請窓口

富士北麓・東部地域振興局健康福祉部(大月保健所)

手続き

必要書類は、特定疾患医療受給者交付申請書・医師の診断書・住民票・保険証の写し

連絡先

健康福祉部健康支援課  
☎0554 22 7827



特定疾患名

ベーチェット病	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	膿疱性乾癬
多発性硬化症	悪性関節リウマチ	広範脊柱管狭窄症
重症筋無力症	パーキンソン病関連疾患	原発性胆汁性肝硬変
全身性エリテマトーデス	1) 進行性核上性麻痺	重症急性膵炎
スモン	2) 大脳皮質基底核変性症	特発性大腿骨頭壊死症
再生不良性貧血	3) パーキンソン病	混合性結合組織病
サルコイドーシス	アミロイドーシス	原発性免疫不全症候群
筋萎縮性側索硬化症	後縦靭帯骨化症	特発性間質性肺炎
強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	ハンチントン病	網膜色素変性症
特発性血小板減少性紫斑病	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	プリオン病
結節性動脈周囲炎	ウェゲナー肉芽腫症	原発性肺高血圧症
潰瘍性大腸炎	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	神経線維腫症
大動脈炎症候群	多系統萎縮症	亜急性硬化性全脳炎
ピュルガー病	1) 線条体黒質変性症	パッド・キアリ(Budd-chiari)症候群
天疱瘡	2) オリブ橋小脳萎縮症	特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)
脊髄小脳変性症	3) シャイ・ドレーガー症候群	ライソゾーム病(ファブリー(Fabry)病含む)
クローン病	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	副腎白質ジストロフィー1



# ウォークラリーチーム 全 国 大 会 へ

5月29日(日)に第17回山梨県スポーツレクリエーション祭ウォークラリー大会に丹波山村から橋詰君枝さん・坂本フジエさん・青柳エガノさんの3名が丹波山Aチームとして出場し、11月に福岡県で行われる第18回全国福祉祭福岡大会の出場権を獲得しました。  
おめでとうございます。そして、全国大会でもがんばってください。

## 丹波山サッカークラブからお知らせ

丹波山村を他市町村に十分アピールしている「丹波山サッカークラブ」は、今までに奥多摩町・青梅市・大月市に遠征試合に行き、強豪チームと対戦してきました。そして、毎週1回の練習の成果が徐々に現れているところです。

今回は、青梅第7小学校チームをホームグラウンドである丹波山村の村民グラウンドに招いて交流試合を行うことになりました。ぜひ、子どもたちのハッスルプレーを大勢の村民の皆様に見ていただき温かい応援をよろしくお願いします。前回の大月フットボールクラブとの試合では、貴重な「1点」を採ることができました。今度はぜひ「1勝」を目指してがんばってほしいと思います。

日 時 8月7日(日)12時30分から 場 所 村民グラウンド

当日は、子どもたちの交流試合の他に、中学生以上の大人の交流試合も予定されています。参加していただける方は、サッカーのできる服装で村民グラウンドにお集まり下さい。試合は20分程度を予定しています。

### 市町村振興宝くじ

## サマージャンボ宝くじ

1等(2億円)	42本
1等の前後賞(5,000万円)	84本
1等の組違い賞(10万円)	4,158本
2等(1億円)	42本
3等(1,000万円)	420本
4等(100万円)	8,400本

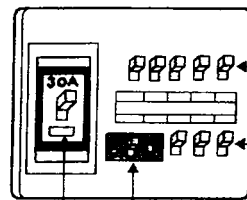
発売期間 7月15日(金)~8月2日(火)  
抽 選 日 8月12日(金)

この宝くじの収益金の一部は、丹波山村の明るく住みよい村づくりに使われます。  
昨年のサマージャンボ宝くじの時効(平成17年8月15日(月))が迫っていますのでお忘れなく。

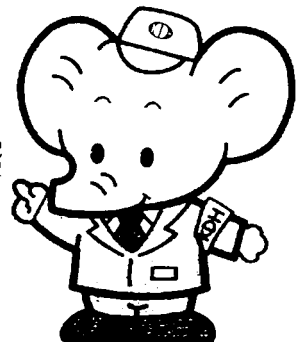
## 8月は経済産業省主唱の電気使用安全月間です

☆ 安全エレちゃんからのお願い ☆

漏電遮断器を取り付けて、電気事故を防ぎましょう



配線用遮断器



財団法人 関東電気保安協会  
KDH 法人 関東電気保安協会  
<http://www.kdh.or.jp>

# 食中毒を防ぎましょう!

食中毒は飲食物と一緒に口から入った食中毒菌・ウイルスや有害・有毒物質によって起こります。

高温多湿の夏季は細菌による食中毒が多く発生します。細菌性の食中毒を防ぐには、

- 菌をつけない
  - 菌を増やさない
  - 菌をやっつける
- ことが基本です。

## 菌をつけないために

手洗いをしっかり行うことが最も大切です。魚介類は真水でよく洗いましょう。肉や魚などの汁が果物やサラダなど生で食べるものや調理済みの食品にかからないようにしましょう。

## 菌を増やさないために

冷蔵・冷凍の温度管理をきちんと行いましょう。解凍は冷蔵庫か電子レンジで行いましょう。卵を割ったらすばやく調理しましょう。

調理済みの食品はできるだけ早く食べましょう。

## 菌をやっつけるために

肉などの加熱調理する食品は十分に加熱しましょう。残った食品を温めなおすときも同様です。

これらを守って細菌による食中毒を防ぎましょう!

# 夏バテに負けてたまるか

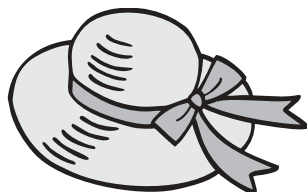
最高気温が30度以上になる真夏日が、今年も丹波山村で何度か記録されました。

今後、ますます真夏日が多くなっていくと思います。暑さが本番を迎えると、食欲がなくなったり、だるくなったりする「夏バテ」が心配されます。

暑さに負けてはいられません。夏を乗り切るには何に気を付ければいいのかを考えましょう。

## 夏バテになってしまう原因

- ・暑くなると動くのが嫌になりますが、体を動かさないことにより新陳代謝が落ちて老廃物が体外に排出されず疲れが残ってしまう。
- ・暑いと冷たい飲み物を多く飲んでしまいますが、そのことにより胃液が薄まり、消化機能が落ちて食欲がなくなってしまう。



## 夏バテにならないために

- ・暑い場所で作業をする人は、3リットルぐらいの水分補給が必要です。室内で働く人も1リットルぐらいの水分補給が必要です。冷たい飲み物ばかりでなく、少し温めの飲み物やスポーツドリンク（糖分や塩分が補給できるが飲み過ぎもダメ）を飲むのがいい。
- ・ビタミンBを含んでいる食べ物を食べる。例えば、豚肉、レバー、大豆製品、サバ、卵、ウナギなど。
- ・室内と外との気温差が大きいと体温を調整する自律神経がついていけなくなるので外気との差は5度以内が望ましい。例えば、外の気温が30度であれば、室内は26・27度に保つことが大事。クーラーがある場合は、強さを控えめにしましょう。
- ・涼しい朝晩に早足で散歩をしたり体操をしましょう。ただし、自分のペースで無理のないように。

# 「子育てひろば」託児ボランティア募集!

村では、『子育てひろば』で託児ボランティアしてくれる方を募集しています。少しでも興味を持った方・ぜひやってみたいという方、ご連絡をお待ちしております。

## ✿『子育てひろば』って?✿

平成14年度から小菅村と共同で行っています。主に小学校入学前の子どもがいる親子を対象にしています。

少子化が進む中、両親が子育てについて勉強したり、親と子ども両方の交流を目的に行っています。みんなで遊んだり、お母さんたちだけ別室でのんびりと話したり…。このひろばをいい仲間作りのきっかけにしたいと思っています。

毎回、たくさんの家族の参加があり、楽しい時間を過ごしています。



## ✿なぜ託児ボランティアが必要なの?✿

近年、丹波山村でも核家族化が進んでいます。そのため、ちょっとした間でも子どもをあずけられるところを村内に持たない家庭が増えています。

『子育てひろば』のプログラムの中には、子どもたちと離れて保護者だけで話す時間があります。そんな時、おじいちゃん・おばあちゃんが見ていてくれると一番助かりますよね? だけど、おじいちゃん・おばあちゃんがそばにいない家族も多いんです。そこで、皆様のお力をちょっとずつお借りたいのです。保護者の方が安心して子どもを任せられるのは、同じ村に住み、毎日のように顔を合わせる近所の方なのです。

## ✿託児ボランティアの仕事って?✿

内容は、簡単! 誰にだって出来ちゃいます。一緒に遊んだり、危なくないように注意して見ていていただくことです!

## ✿どんな人が託児ボランティアになれるの?✿

どんな人でも、なれます。年齢・性別・未婚・既婚は問いません。興味を持ってくれる人、大歓迎です。お手伝いの意味だけではなく、自分の目的で参加してください。

? 目的って? ...例えば、

- ・将来、保育士など子どもに関する仕事がしたいからちょっと疑似体験。
- ・一人っ子・末っ子でお兄ちゃん・お姉ちゃん体験がしたい又はさせたい。
- ・小さい子どもが好き
- ・近所の子が行くのに誘われた
- ・とにかく自分も混ざって遊びたい! など、何でもいいです。

## ✿『子育てひろば』の日程は?✿

平成17年10月23日(日)

「お父さんって?(仮)」

平成17年12月4日(日)

「親子遊び」

この2回にボランティアを募集します。

申込み・問い合わせはこちらまで  
総務住民課 保健師 長田

☎88 - 0211



# 丹波小学校交通安全教室



手を上げて横断歩道を渡りましょう。



車は急には止まれない

5月11日(水)に丹波小学校で「交通安全教室」が行われました。丹波駐在所の武井清仁警部補と上野原警察署から2名の警察職員のあわせて3名のおまわりさんが、小学生たちに優しく丁寧に交通事故防止のためのルールを指導していました。

小学生たちも横断歩道の歩き方や自転車の乗り方など今までわからなかったことや忘れていたことなどを一生懸命学んでいました。1・2年生は実際に丹波山村役場入口の信号で横断歩道を渡る練習をしました。

最後に4つの約束をして交通安全教室を終えました。一つ目は、道路で遊ばない。二つ目は、道路を歩くときは右側を歩くようにする。三つ目は、道路を渡るときは横断歩道を渡る。横断歩道がないときはなるべく渡る距離を短くしまっすぐに渡る。四つ目は、道路に飛び出さない。以上のことを絶対に忘れずに交通事故に遭わないよう注意しましょう。晴天の下で暖かく気持ちのいい、体を動かすのにピッタリの天気でした。

## ふれあい集会



7月1日(金)に丹波小学校で児童会主催の「ふれあい集会」がありました。当日は小雨が降るあいにくの天候でしたが、保護者とともに地域の方々も大勢集まりました。

子どもたちは、丹波山村にある民話を劇という形にし、「送り狼」「蛙井戸」「小袖鍾乳洞と日原鍾乳洞」「四季に咲く花の木」の4つの劇を発表しました。ところどころに子どもたちの工夫とアドリブが入り、わかりやすく楽しい劇になっていました。また、児童・保護者・地域住民・先生と一緒に

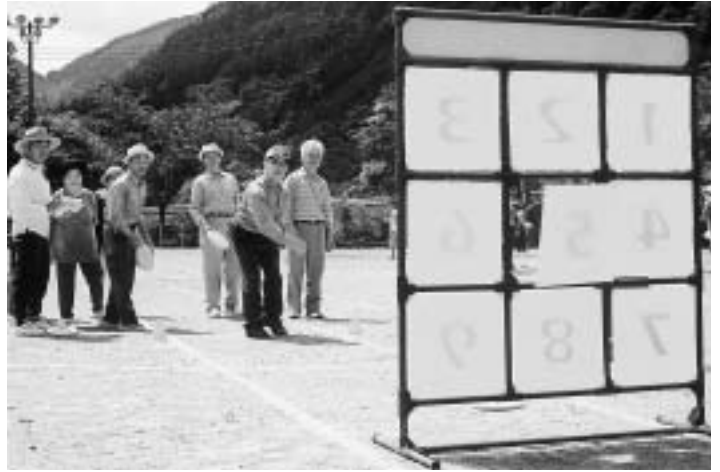
なって「ふれあいボーリング」「ふれあい肩たたき」をして楽しみました。ゲームをし、劇を見させていただいたことに感謝し、地域住民を代表し橋詰セツ子さん、坂本ウメさん、山本ヒサエさんの3人が「炭坑節」の踊りを児童・保護者・先生に指導して、最後にみんなで踊りました。

子どもが少なくなり、子どもたちの笑い声などを聞くことがあまりありませんが地域住民とのふれあいを通して、児童生徒の誘拐等の犯罪から守っていきましょう。

# ニュースポーツ 交流大会

6月12日(日)丹波中学校グラウンドと体育館で、ニュースポーツ交流大会が晴天の下で行われました。

当日は、ニュースポーツ以外に体力測定も実施され、自分の体力がどの程度あるのかを調べていました。昨年参加し、昨年の結果を持参してきた参加者もいて、今年の体力測定の結果と比べる姿も見られました。老人クラブ連合会でも会員に呼びかけたので、昨年よりも大勢の方に参加していただき、にぎやかにグラウンドゴルフなどのスポーツで汗を流していました。昼食はおにぎりと豚汁が用意され、おいしくみんなでいただきました。



真ん中に命中



◀ 片足でどのくらい立ってられるかな～

# 心肺蘇生法講習会

これから暑い日が多くなり、プールや川・海で泳ぐ機会が増え水難事故に気を付けなければならない季節がやってきます。

7月1日(金)に丹波小学校で保護者と先生方を対象に大月市消防署丹波山出張所職員による「心肺蘇生法講習会」が実施されました。救急車が現場に到着するまでの間に患者に対し行う「心肺蘇生法」を人形を使って体験し、いざというときに役立ててもらうことを目的として行ったものです。

参加した保護者のみなさんや先生方は、最初のうちは恥ずかしさがあったようですが、講習が進むにつれ声が大きくなり、キビキビとした動作となり、「人を助ける」という気持ちが見てわかるほど真剣に行っていました。もし、人が倒れていた場面が身近で起こった場合、誰でも「心肺蘇生法」ができることが理想です。ぜひこのような講習会がある時は一人でも多くの方に参加していただきたいと思います。



人工呼吸開始!

## 手 順

- 周囲を状況確認
- 意識の確認「大丈夫ですか」
- 周りの人を呼ぶ
- 「119番通報をお願いします」
- 呼吸の確認(見て、聞いて、感じて、4、5、6、7、8、9、呼吸なし)
- 頭部を下げたあごを上げて鼻をつまみ空気の通りを良くして「人工呼吸開始」(息を多く吹き込む動作を2回)
- 耳を口に近づけ「呼吸があるか」、体全体を見ながら「体の動きはあるか」をよく見て無いようだったら
- 心肺蘇生法開始〔4回繰り返す〕(体重を掛けて15回胸を押す。その時はしっかり早めに。2回多く息を吹き込む)
- 呼吸の確認(見て、聞いて、感じて、4、5、6、7、8、9、呼吸なし)
- その繰り返し

こちら **総務住民課** です  
**戸籍係**

平成17年4月1日から平成  
17年6月30日（敬称略）

おくやみ ご冥福をお祈り申し上げます

- ・進藤 柳治 75歳(鴨 沢)
- ・廣瀬 廣一 87歳(下 組)
- ・岡部 廣作 85歳(奥 秋)
- ・坂本 清作 83歳(上 組)
- ・木下 萬男 84歳(奥 秋)
- ・守岡あき子 85歳(中 組)

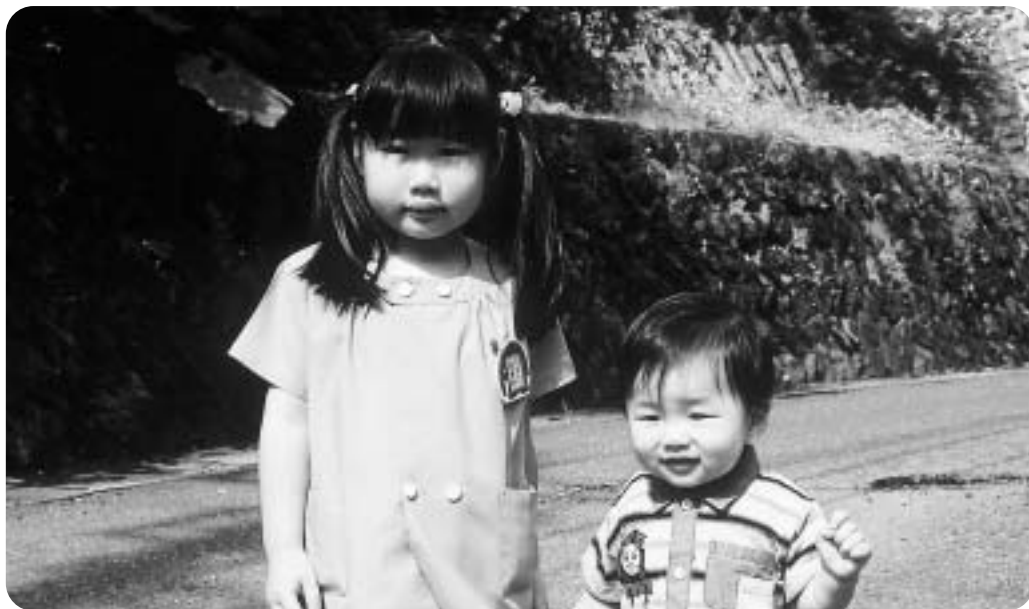


(敬称略)  
康平

- 衛生協力員
- ・東部 岡部 靖 吉野 光男 小林 一三、岡部 康平
  - ・保之瀬 船木 由正、船木 和久
  - ・高尾 榎澤 武人、押垣外 浅沼 春樹
  - ・中組 船木 忠 下組 河村 守屋 政富
  - ・奥秋 木下 寿文 上組 守屋 政富
  - ・東部 松島 三郎 河村 清一、小林 一三
  - ・保之瀬 小林 正三
  - ・高尾 山田 久 押垣外 浅沼 龜
  - ・中組 守屋 富重 下組 芦澤将一郎
  - ・奥秋 芦澤 文男 上組 河村 節雄
  - 区長代理 小林 敏男 東部 河村 利一
  - ・高尾 橋詰市太郎 押垣外 白木 勉
  - ・中組 坂本 求 下組 酒井由記夫
  - ・奥秋 船木 久夫 上組 今井 光男

各 地 区 役 員 紹 介

いつもニコニコ 仲良しきょうだい



船木 <sup>あゆみ</sup> 歩ちゃん(5歳)・<sup>のぶひで</sup> 伸豪くん(1歳)〔保之瀬・和久さん〕